

わくわく・ドキドキ われらは愉快的探検隊！

たじけん通信 '22冬号

発行/2022年3月5日(季刊) 発行者/特定非営利活動法人但馬自然史研究所 〒669-6201 兵庫県豊岡市竹野町竹野1500-2
HP/https://www.tajimashizenshi.com/home E-mail/tajimashizenshi@gmail.com



秋～冬のおもしろ特集！ コロナ禍でも11月～2月のやっぱり元気な活動報告

みんなのけやきマルシェ 11/7

樹齢50年のケヤキは、たじけんのシンボル。その庭にクラフト、パン・野菜、焼き芋、ワークショップに交換市、ミニ水族館などなど、たくさんのブースでワイワイにぎわいました。

木陰で風に吹かれたり、二階で漫画を読んだり。おやおや？“松ぼっくり釣り”が突然始まりました！思い思いに過ごすもたじけんならではの...。「また、やってほしいぞ！」初めての開催でしたが、ケヤキが気持ちよさそうに喜んだ一日でした。



たじけん紹介2

○わたしたちの活動拠点②「宇日舟屋」竹野町宇日(ウ)

小石の浜に舟屋が並ぶ全国でもまれな景観。ジオカヌー、スノーケリング、ピオトープなど、海川里がつつまった第2基地。



できたよ正月飾り！ 正月餅つきワークショップ12/19

12月恒例の“マルチ”ワークショップ。コロナ禍の今年も家族ごとに時間差で楽しんでもらいました！

- ①ネイチャークラフト ②きな粉挽き ③餅切り・餅食 ④餅花飾りつけとメニューが盛りだくさん。

石臼で挽いたきな粉は香ばしく、できたてのお餅と食べれば最高！正月リースにクリスマスリースも作って、餅花のおみやげ。伝統の暮らしってやっぱり味わい深くて、心地いいね。



ロケットストーブでエコ生活 1/23

毎回人気のワークショップ。5組が一斗缶と格闘して見事に完成！シンプルだけど燃焼効率を極めた自作ストーブに大満足な面々。ライフスタイル変わること間違いなしです。



研究員コラム 足立 義弘 研究員



昆虫を中心に、但馬の豊かな自然に関心を持ち続けています。植物、岩石・鉱物、貝類など自然観察や工作物の素材探しに海・山・川へ。得意なのは生き物を図に描くこと。最近では豊岡のマイ工房で端材利用の木製品づくりに取り組んでいて、京都と但馬を行ったり来たりしています。だれ？アメフラシって言わんといて！

豊岡市出身、京都市在住 元但馬むしの会会員

ササグモ (たじけんピオトープ7月)

ついうれしくなってしまう質問のひとつに「どうしてクモが好きなんですか？」というのがある。答えは「カッコいいから」何とも大人げない返事だけど。「どうしてザトウムシが好きなんですか?」「どうしてカニムシが好きなんですか?」「どうしてササラダニが好きなんですか?」にも同じ答え。ときどき「かわいらしくて」とか「生き方が知的で」とかが、おまけでくつつく。

所長の生き物大好き

